

東京CS

しんぶん

《第16号》

- 東京コミュニティスクール卒業式
- 手紙になつたりんご劇ふれあいの家
- 新宿区立富久小学校学習交流



### ■第一回東京コミュニティスクール卒業式

2006年3月16日

■春風とともに、卒業の季節がやってきました。東京コミュニティスクールの記念すべき、第1期卒業生が誕生しました。■たった一人の、小さな卒業式に、彼女を知るたくさんの方々がお祝いに駆けつけてくださいました。来賓を代表して、テーマ「あぶないことから身を守る！」防犯マップづくりでお世話になった杉並区安全パトロール隊の大口さんにお言葉をいただきました。■在校生たちからは、音楽の時間に練習をかさねてきた「さくら」をプレゼント。「どんなにくるしいときも、きみはわらっているから」心のこもった、ほんとうにあたたかい式でした。■懇親会の終わりに、子どもから卒業生へ、寄せ書きが渡されました。「そつぎょうおめでとう、そつぎょうしてもわすれないよ」「中学校をがんばってね」1年生からのエールです。学び続ける力を身につける、バトンはしっかりと渡されました。



### ■手紙になつたりんご劇ふれあいの家で上演

2006年3月2日

■手紙になつたりんごの劇を、地域の福祉施設ふれあいの家で上演させていただけることになりました。■前回決めた「目で見て分かるシーンを多くする」という目的に向けて、表情がよく見えるように小道具を作り直しています。■とうとうこの日がやってきました。小道具を担いで移動すること1~2分・・・



ふれあいの家に到着した時、29人のおじいちゃんおばあちゃんが、まったりとお茶を飲みながら朝の会が始まるのを待っていました。■2匹のわんぱく子ねずみとネズゴンパパが活躍するシーンで盛り上がり、お話はクライマックスへ。前回クリスマス会の上演で、「後半ちょっと長過ぎた」という改善点があがり、今回は落ちたりんごが奇跡的にお父さんのセーターの上に着地するようにストーリーを変え、スピーディーな話の展開になっています。■劇が終了すると、29人のおじいちゃんおばあちゃんは、3人の子どもたちの大ファンになっていました。30分のロングインタビューで、「劇の練習期間」「学校はどこ?」「将来の夢」「趣味と特技」と質問攻め。おしゃべり大好きな子どもたちは、可愛さを振りまきながら答えていました。



## ■新宿区立富久小学校学習交流

2006年2月24日

■SIS+TCS教育実践発表会でお世話になった新宿区立富久小学校へ、今度は子どもたちが学習交流のためにおじゃますることになりました。■第1回目の交流はバン（中学年）クラスのみでしたが、第2回目の今回はたつツツ（低学年）クラスも参加。■富久小学校3年生クラスと合同でマヤの図工の時間です。テラコッタ粘土を使って、「自分にとって大切な4つの事・人・物」をテーマに作品をつくります。■今回の製作でキーワードとなる言葉「bubble」「cut」「score」「join」「slip」マヤが繰り返し発しながら作業をして見せます。それを見ながら、または自分の作品をつくりながら、子どもたちの口から自然にキーワードが飛び出します。■ドン！ドン！ドン！！にぎやかな図工室です。■TCSと富久小学校の子どもは交互に座っています。説明がよくわからなかったときには、「何て言ってるの?」と隣にいる友達に聞いてみていました。それでもわからないときはもう一度マヤに聞くしかありません。■午後の発表会は一人ずつ作品の紹介と質問返答です。大切な物として子どもたちが描いたものは「家族」「友達」「動物」など。お互いに耳を傾け合っていました。



### 東京コミュニティスクール Tokyo Community School

〒166-0012東京都杉並区和田3-37-5第5鴨下ビル(1F~4F/屋上)  
TEL//03-3313-8717 FAX//03-5305-7234 E-mail//school@tokyocs.org  
東京CSしんぶん 編集長//市川 力 編集委員//川口 誠

 <http://tokyocs.org/>